

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (土日祝祭日を除く9：00～17：00)
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこなう。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8097

各種お手続きについて
株式に関するお手続きおよびご照会について
住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他のお手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。
(証券会社等の口座に記録された株式) 口座のある証券会社等
(特別口座に記録された株式) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

証券会社等への口座振替のすすめ
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまのご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引をおこなうためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主さまの口座に株式を振替えること(＝口座振替)をおすすめします。
お手続きの詳細につきましては、左記三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

未払配当金の支払について
左記株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。



第89期 中間報告書

平成31年 4 月 1 日～令和元年 9 月30日

目次	
株主のみなさまへ	1
事業の概況	3
連結財務諸表	6
TOPICS	8
企業インフォメーション	9
株式の状況	10
株主メモ／各種お手続きについて	裏表紙



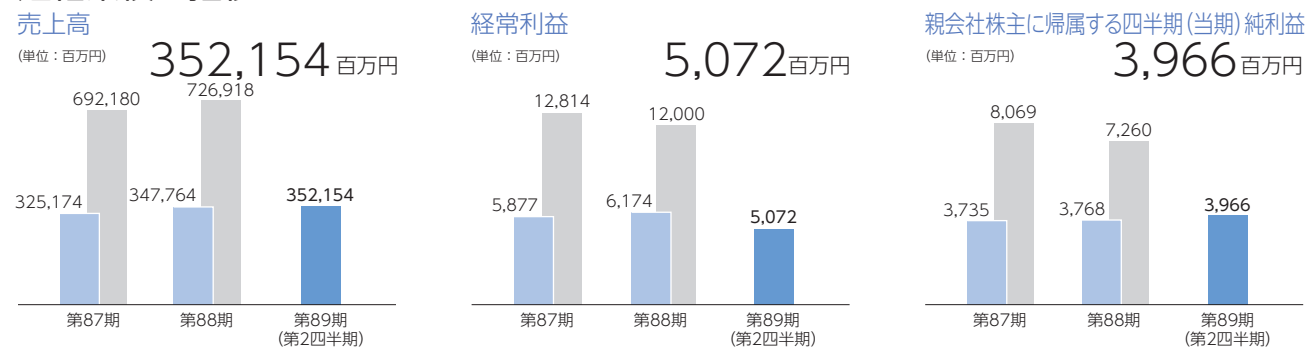
代表取締役社長
塚原 由紀夫代表取締役会長
金田 準

経営理念



「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」は、創業者 故 市村清の掲げた創業（三愛）精神です。

連結業績の推移

変化に機敏に対応することで
選ばれ続ける企業グループを
実現してまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、令和元年9月30日をもちまして、第89期第2四半期を終了いたしましたので、当社グループにおける事業の概況をご報告かたがたご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかに回復いたしました。先行きにつきましては、世界的な貿易摩擦の長期化、相次ぐ自然災害や消費税率引き上げなどの経済に与える影響が懸念され、依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻くエネルギー業界におきましては、石油製品の需要が引き続き減少傾向にあるなか、石油元売りの再編や電力・都市ガスの自由化などの影響を受けて経営環境は大きく変化しております。

こうしたなかで、当社グループは、新規顧客の獲得と販売数量の拡大に努めるとともに、子会社の統合などグループ経営の効率化を図ってまいりました。

このような経営環境のなか、当社グループは、経営理念である三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」のもと、持続的な成長の礎となる人材の育成と確保に努めるとともに、経営環境の変化を長期的な視点で的確にとらえ、その変化に機敏に対応することで選ばれ続ける企業グループを実現してまいります。

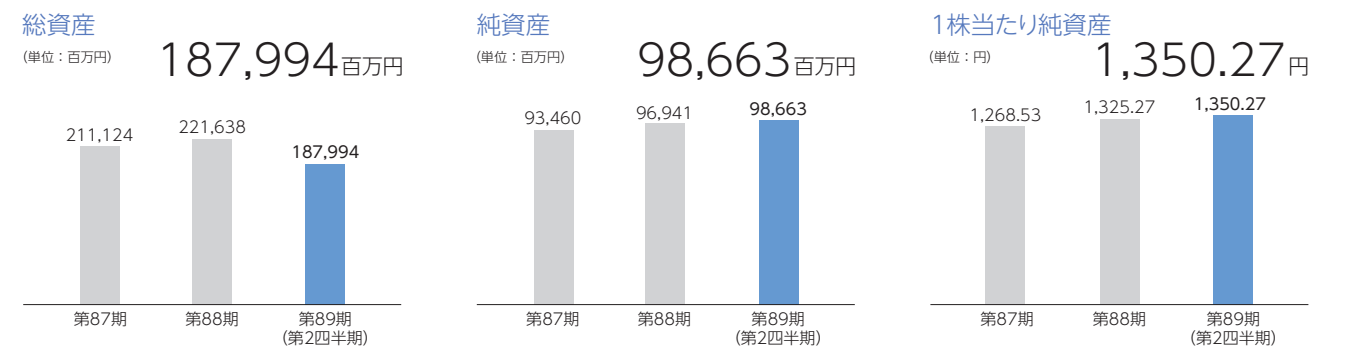
また、コーポレートガバナンスの強化や健康

経営の推進など社会の要請・課題の解決に努め、持続可能な開発目標SDGsへの取り組みも進めてまいります。

羽田空港におきましては、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて国際線の発着枠が拡大されますが、航空機給油施設の増設等インフラ整備を着実にこなうことで、航空燃料の需要拡大に対処してまいります。また、危険物を取り扱う企業の責務として、航空機給油施設や石油製品出荷基地の安全確保と運営に万全を期し、エネルギーの安定供給に努めてまいります。

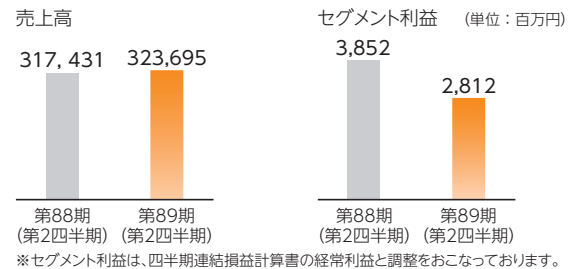
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月



(注) 税効果会計に係る会計基準の一部改正等を第88期の期首から適用し、第87期につきましては当該会計基準等を選って適用した後の数値を記載しております。

石油関連事業



石油製品販売業

特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料の販売、SS（サービスステーション）での小売販売を通して全国に石油製品を供給しております。
令和元年9月30日現在 系列SS1,057ヶ所



当社グループにおきましては、自動車の燃費向上などによる石油製品の需要減少が進むなか、カーケア商品の拡販などSS収益の拡大や新規特約店の獲得を図ってまいりました。

当社におきましては、本年のSS経営戦略を「共走共汗 2019 来るべき次代のために～予約販売の推進～」とし、特約店に対してカーケア商品の予約販売を提案するなどリテールサポートを実施することで、販売活動の効率化と

顧客満足度の向上を図ってまいりました。産業用燃料油販売につきましては、需要家のニーズに応じた提案型営業をおこなうことで販売の拡大に努めてまいりました。産業用潤滑油販売につきましては、ガスエンジン発電設備用や風力発電機用などの拡大する市場での販売活動を強化してまいりました。また、ガスエンジン冷却水の提案や風力発電機用増速機の内視鏡調査などを通じて機械の安定稼働に貢献することで、顧客の固定化に努めてまいりました。

キグナス石油株式会社におきましては、「人にフォーカス！継続的な関係づくり」を掲げ、会員カードによる顧客の固定化やSSスタッフの採用・定着のための施策を展開してまいりました。

化学品製造販売業

防腐・防かび剤や自動車用ケミカル商品等の研究開発から製造・販売まで、メーカー機能と商社機能を融合させてご要望にお応えしております。

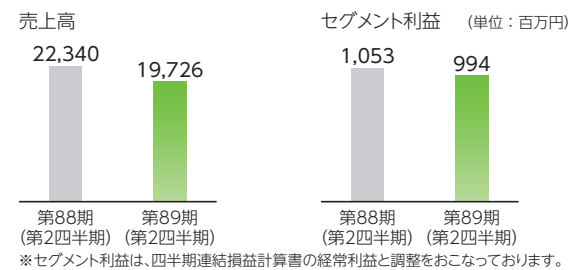
当社におきましては、顧客のニーズに応じた商品の開発や製造をおこなう当社グループの強みを活かした提案型営業を展開し、金属加工油用途に防腐・防かび剤の販売を強化してまいりました。自動車関連商品では、洗車機用ガラス系コート剤を中心にOEM製品の拡販を図るとともに、高級洗車コーティングシステム



「ARAWZANS(アラウザンス)」の認定制度を展開することで導入店の技術力向上に取り組んでまいりました。また、エクソンモービル製品は主軸であるクリーニング用途に加え、金属洗浄や圧延油用途への拡販に努めてまいりました。

三愛理研株式会社におきましては、既存および新規の需要家へ積極的な営業活動をおこなうことで、農薬の受託生産の拡大を図ってまいりました。

ガス関連事業



LPガス販売業

家庭用、業務用等LPガス、産業用一般高圧ガス、エアゾール用脱臭LPガス、オートガスを販売しております。



当社グループにおきましては、少子高齢化に伴う世帯人員の減少や高効率ガス機器の普及などによりLPガス

の需要が減少するなか、新規特約店の獲得や小売営業権の買収などに努めることで販売数量の拡大を図ってまいりました。

本年の基本方針「TAKE ACTION 2019」に基づき、競争力強化推進プログラムとして、顧客に密着した施策を特約店とともに実施し、「報連相シート」や「オブリStyle」などの情報収集ツールの活用によりお客さまとの接点強化に努めてまいりました。また、特約店に対してBCP（事業継続計画）の策定支援を実施し、緊急時における供給体制の整備をおこなってまいりました。

保安面におきましては、「危機対応訓練」や「一日保安ドック」を継続して実施し、保安の確保に継続して努めてまいりました。

天然ガス販売業

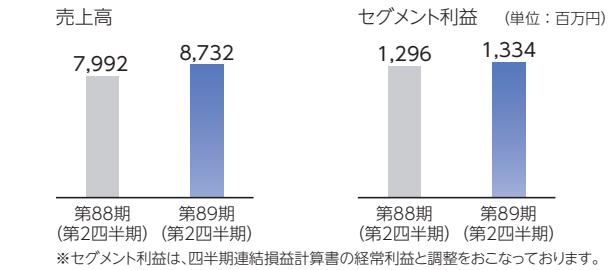
佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、天然ガスを利用したエネルギー供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっております。

当社におきましては、需要家のコスト削減などのニーズに応えるため、工場廃棄物から発生するバイオガスの有効利用や工業用水のろ過処理などを天然ガスの供給とあわせて提案するソリューション営業を展開してまいりました。佐賀天然ガスパイプラインでは、沿線の需要家に対して、省エネ・CO₂削減のため重油から天然ガスへの燃料転換を提案することで、新規需要家の獲得に努めてまいりました。また、沿線パトロールや設備点検を継続し、本年8月の佐賀県における豪雨の際にも支障なくガス供給をおこなってまいりました。

佐賀ガス株式会社におきましては、都市ガス導管の維持管理、設備の改廃、保安の強化等を進めるとともに、新規需要家の獲得やガス空調システムの提案などにより都市ガスの需要拡大に努めてまいりました。



航空関連事業他



航空燃料取扱業

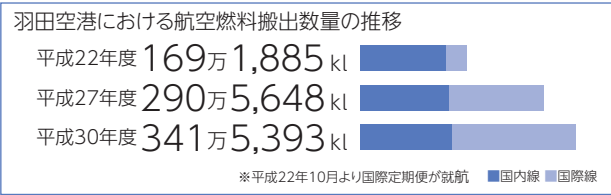
羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで20ヶ所の空港で給油業務等をおこなっております。



当社グループにおきましては、航空機給油施設の運営

に万全を期すとともに、航空燃料給油業務における安全確保に努めてまいりました。

羽田空港におきましては、国際線の既存路線の増便や新規路線の開設により、燃料搭載数量が前年同期を上回りました。こうしたなかで、当社におきましては2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた国際線の発着枠増加に対応するため、貯油タンクの増設工事をおこなうとともに、航空燃料の払出能力および受入能力の強化工事を進めてまいりました。



その他

金属表面処理業、建設工事業等をおこなっております。



三愛プラント工業株式会社におきましては、半導体関連向け需要の減少により、精密洗浄処理の受注が減少したことから、金属表面処理業の売上高は前年同期を下回りました。一方、建設工事業の売上高は、大型工事が順調に進んだことから前年同期を上回りました。

四半期連結貸借対照表(要旨)

	当第2四半期	前 期
	令和元年9月30日現在	平成31年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	108,095	139,384
現金及び預金	50,426	56,601
受取手形及び売掛金	45,862	65,154
有価証券	3,200	—
商品及び製品	6,740	5,941
仕掛品	92	140
原材料及び貯蔵品	90	122
その他	2,098	11,563
貸倒引当金	△415	△138
固定資産	79,899	82,253
有形固定資産	50,761	51,449
建物及び構築物	17,738	18,372
機械装置及び運搬具	6,810	7,014
土地	19,641	20,600
その他	6,571	5,461
無形固定資産	1,766	1,941
のれん	754	1,008
その他	1,011	932
投資その他の資産	27,371	28,862
投資有価証券	23,036	24,564
退職給付に係る資産	1,456	1,338
その他	2,987	3,069
貸倒引当金	△108	△108
① 資産合計	187,994	221,638

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

① 資産について

前期末に比べ336億43百万円減少し、1,879億94百万円となりました。これは主に、前期末が金融機関の休日であったことから、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

② 負債について

前期末に比べ353億65百万円減少し、893億30百万円となりました。これは主に、前期末が金融機関の休日であったことから、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

③ 純資産について

前期末に比べ17億21百万円増加し、986億63百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。
以上の結果、自己資本比率は前期末の41.7%から50.1%となりました。

	当第2四半期	前 期
	令和元年9月30日現在	平成31年3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	67,312	99,845
支払手形及び買掛金	49,973	80,680
短期借入金	314	230
1年内返済予定の長期借入金	2,620	2,059
未払法人税等	2,485	2,355
賞与引当金	1,584	1,742
役員賞与引当金	45	90
完成工事補償引当金	3	3
工事損失引当金	5	—
資産除去債務	48	115
その他	10,230	12,567
固定負債	22,018	24,851
長期借入金	7,607	9,404
役員退職慰労引当金	137	201
特別修繕引当金	178	163
退職給付に係る負債	226	234
資産除去債務	659	663
その他	13,208	14,184
② 負債合計	89,330	124,696
【純資産の部】		
株主資本	89,510	86,521
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	4,288	4,288
利益剰余金	76,480	73,491
自己株式	△1,386	△1,385
その他の包括利益累計額	4,703	5,948
その他有価証券評価差額金	5,123	6,363
土地再評価差額金	△458	△458
退職給付に係る調整累計額	38	43
非支配株主持分	4,449	4,471
③ 純資産合計	98,663	96,941
負債純資産合計	187,994	221,638

四半期連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	平成31年4月1日～ 令和元 年9月30日	平成30年4月1日～ 平成30年9月30日	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日
1 売上高	352,154	347,764	726,918
売上原価	326,984	322,723	675,509
売上総利益	25,170	25,040	51,409
販売費及び一般管理費	20,532	19,515	40,448
営業利益	4,638	5,524	10,960
営業外収益	651	893	1,523
営業外費用	217	243	483
2 経常利益	5,072	6,174	12,000
特別利益	1,632	53	66
特別損失	215	86	400
税金等調整前 四半期(当期)純利益	6,489	6,142	11,665
法人税、住民税及び 事業税	2,639	1,813	3,714
法人税等調整額	△243	275	288
四半期(当期)純利益	4,092	4,053	7,662
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	126	285	402
3 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,966	3,768	7,260

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

1 売上高について

前年同期比1.3%増の3,521億54百万円となりました。

2 経常利益について

前年同期比17.9%減の50億72百万円となりました。

3 親会社株主に帰属する四半期純利益について

前年同期比5.3%増の39億66百万円となりました。

連結セグメント情報(セグメント利益)

単位:百万円

	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	平成31年4月1日～ 令和元 年9月30日	平成30年4月1日～ 平成30年9月30日	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日
石油関連事業	2,812	3,852	6,905
ガス関連事業	994	1,053	2,560
航空関連事業他	1,334	1,296	2,727
計	5,141	6,202	12,192
調整額	△69	△28	△192
(四半期)連結損益計算書 計上額	5,072	6,174	12,000

(注)1.記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。
2.セグメント利益は、(四半期)連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

三愛石油グループの拠点集約

本年4月から5月にかけて、三愛石油グループは都内等に点在していた本社・事業所を大手町プレイスイーストタワーとオブリ・ユニビルの2拠点に集約



SSビジネス見本市に初出展

三愛石油(株)は、本年6月に幕張メッセで開催された全国石油商業組合連合会主催の「SSビジネス見本市」に初出展いたしました。
当日は、当社が開発した高級洗車コーティング

システム「ARAWZANS (アラウザンス)」について実車を用いたデモンストレーションを実施し、作業性向上による時間短縮や高品質な仕上がりを来場者へPRいたしました。



会社の概要

本 店 所 在 地 東京都品川区東大井五丁目22番5号

本 社 事 務 所 東京都千代田区大手町二丁目3番2号

創 業 年 月 日 昭和27年6月9日

主要な事業内容

- ・一般石油製品およびLPガス等の販売
- ・ガス事業法に基づくガス導管事業およびガス小売事業におけるガスの供給
- ・航空燃料の保管および航空機への給油
- ・防腐・防かび剤、消火剤、その他の化学薬品の販売
- ・一般石油製品の保管およびこれに伴う業務

従 業 員 数 483名

資 本 金 10,127百万円

主なグループ会社

石油関連事業

- キブナス石油(株)
- 国際油化(株)
- 東日本三愛石油(株)
- 北陸三愛石油(株)
- 三愛理研(株)

役員

代表取締役会長 金田 準

代表取締役社長 塚原 由紀夫

専 務 取 締 役 山下 奉信

常 務 取 締 役 早川 智之 大沼 尚人

取 締 役 大久保 宏次 志村 一郎 佐藤 孝志

社 外 取 締 役 高橋 朋敬 中川 洋 鵜瀬 恵子

常 勤 監 査 役 水谷 知彦 隼田 洋

社 外 監 査 役 長崎 武彦 豊泉 貫太郎 河野 博文

ガス関連事業

- 三愛オブリガス東日本(株)
- 三愛オブリガス中国(株)
- 三愛オブリガス九州(株)
- 三愛オブリガス三神(株)
- 佐賀ガス(株)

航空関連事業他

- 三愛アビエーションサービス(株)
- 国際航空給油(株)
- 三愛プラント工業(株)

発行可能株式総数…………… 277,870,000株
 発行済株式の総数…………… 71,000,000株
 株主数…………… 3,646名
 単元株式数…………… 100株

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人市村清新技術財団	8,282	11.87

NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,819	8.34
---	-------	------

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 リコー退職給付信託口)	5,800	8.31
---	-------	------

株式会社リコー	3,362	4.82
---------	-------	------

日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	2,737	3.92
--------------------------------	-------	------

日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,284	3.27
-----------------------------	-------	------

株式会社みずほ銀行	2,233	3.20
-----------	-------	------

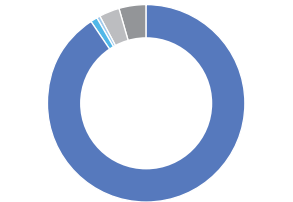
株式会社三井住友銀行	2,203	3.16
------------	-------	------

三井住友信託銀行株式会社	2,173	3.11
--------------	-------	------

JXTGホールディングス株式会社	2,082	2.98
------------------	-------	------

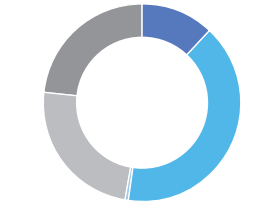
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 当社は、自己株式を1,225,927株保有しております。

所有者別割合



個人その他	90.8%	(3,309名)
金融機関	0.9%	(33名)
証券会社	0.6%	(22名)
その他の国内法人等	3.4%	(125名)
外国法人等	4.3%	(157名)

株式数比率



個人その他	12.0%
金融機関	40.4%
証券会社	0.2%
その他の国内法人等	24.3%
外国法人等	23.1%

中間配当について

第89期(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の中間配当につきましては、令和元年9月30日現在の株主のみなさまに以下に記載のとおり実施させていただきます。

中 間 配 当: 1株につき金14円
 支払開始日: 令和元年12月6日(金)

中間配当金領収証による配当金の払渡期間は令和元年12月6日から令和2年1月6日までとなっております。
 □座振込をご指定されていない株主さまは、同封の「第89期中間配当金領収証」をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にて払渡期間内にお受け取りください。

1株当たり配当金の推移

(単位: 円)

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
中間配当	7.00	8.50	9.00	12.00	13.00
期末配当	11.50	10.50	12.00	15.00	14.00
年間	18.50	19.00	21.00	27.00	27.00

(注) 1. 第86期の期末配当には、特別配当1.00円および創立65周年記念配当1.00円が含まれております。
 2. 第87期の期末配当には、特別配当3.00円が含まれております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした事業活動やその動向などを紹介しております。当社をよりご理解いただくためにもWebサイトを是非ご覧ください。

<http://www.san-ai-oil.co.jp/>

三愛石油 検索



企業情報



投資家情報



CSR